

Press Release

報道関係各位

2020年10月29日

シップヘルスケアホールディングス株式会社

オゾンによる新型コロナウイルス感染対策で需要急拡大 低濃度オゾン発生装置 Airness(エアネス) 新ラインナップで販売

シップヘルスケアホールディングス株式会社（本社・大阪府吹田市、代表取締役会長 CEO 古川國久、東証1部 コード：3360）のグループ会社で、シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社（本社・宮城県仙台市、代表取締役会長 沖本浩一）を総販売元として、グループ各社より、有人状態で常用できる低濃度オゾン発生装置 Airness(エアネス)のリニューアル新ラインナップ「Airness II」（エアネスII）、「Airness S」（同エス）、「Airness Pocket」（同ポケット）を10月下旬より本格的に発売開始します。



Airness(エアネス)シリーズは、特許技術「多重リング式コロナ放電」*1を搭載し、空気中の酸素(O₂)や水蒸気(H₂O)などから「低濃度拡散オゾン」(O₃)*2とマイナスイオン気流を発生させ、その気流に乗せてオゾンを拡散させます。

オゾンは、反応性に富む酸素同素体で、その強い酸化力により有機物を分解することから、消臭や除菌に用いられてきましたが、この度オゾンが、新型コロナウイルスの不活化にも効果があると、次々と大学・専門機関の研究結果が発表され、急速にオゾン発生器の需要が拡大しています。

シップヘルスケアグループが販売する低濃度オゾン発生装置 Airness(エアネス)から発生するオゾンを活用し、空間の除菌やウイルスの除去、また臭いを取り除くことで、空気環境の最適化を実現して参ります。

*1. 特許第 4551977 号をはじめとする関連特許のライセンスを受けています。原理はページ2 参照。

*2. 日本産業衛生学会による労働安全衛生上ほとんどの労働者に健康上の悪影響が無いと判断される許容濃度として 0.1ppm 以下が示されており、本製品はその許容濃度の半量の 0.05ppm 以下となるよう設計されています。

■Airness(エアネス)新ラインナップ販売について

Airness は、2016 年 10 月の発売以来、当社グループの属する医療・介護分野で、臭いや感染など空気環境への課題、感染制御、利用者の居住性や快適性への配慮、職員の労働安全衛生などの多目的な解決手段として、大型医療機関やクリニック・介護施設を中心に 4 万台以上を販売してきました。

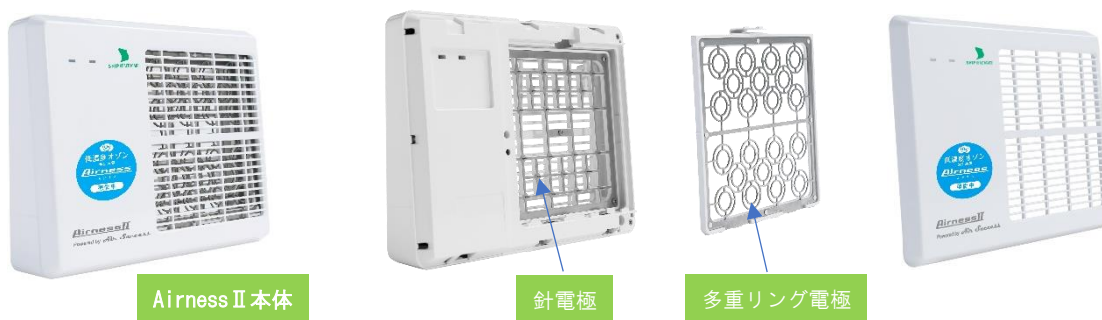
ここ数年は、インフルエンザの流行時期に合わせて、医療機関・介護施設以外にも、一般企業、学校・学習塾等の教育機関にもインフルエンザの予防と感染拡大防止に効果が期待できると評価を受けて、導入先の裾野が広がっていました。

発売から 4 年を迎えるにあたり、新しい Airness のラインナップとして、オゾンの発生量をより効率よく、より拡散して、1 台で最大 30 畳（約 50 m²）まで広範囲で使用できるようにした「Airness II」、パーソナルスペース、個室トイレ・玄関、病院・介護施設の個室、飲食店など最大 10 畳（約 15 m²）の範囲を想定した小型タイプ「Airness S」、

飛行機・新幹線・電車・自動車の移動や応接室・VIP ルームなどの面談・商談時、外食時にも、持ち運んで自由に使えるバッテリー内蔵のポータブルタイプ「Airness Pocket」の 3 タイプを開発。

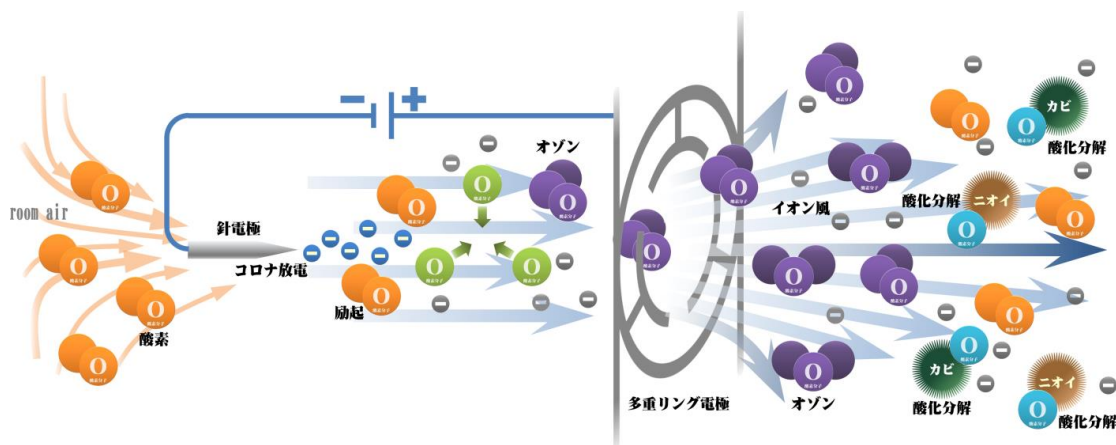
当初の発売予定は 4 月でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、先行して受注が殺到し、増産体制が整わず、ようやく 10 月下旬をもって国内本格販売に至りました。

■Airness(エアネス)の製品特長について



*特許技術「多重リング式コロナ放電」

多重リング状の金属電極と針状の電極の間に高電圧を掛けることでコロナ放電という雷のような現象を起こし、空気中の酸素(O₂)や水蒸気(H₂O)にコロナ放電が作用し、オゾン(O₃)やイオンを生み出します。そのイオンは風となって「マイナスイオン気流」を起こし、オゾンを拡散させる原理です。



図左側 多重リング電極のコロナ放電によるオゾン・イオン発生、図右側 マイナスイオン気流によるオゾンの拡散

低濃度拡散オゾンとマイナスイオン気流のイメージ図



*低濃度オゾン発生表示シール
設置している Airness が、オゾンが発生していることを示すシール。

1. 小型・軽量・省エネ

Airness(エアネス)シリーズにはファンやフィルタが無く*3、消耗品がありません。

構造もシンプルなため小型で軽量です。Airness II は、正面から見た寸法は A4 版用紙より 3 割程小さく、重さは掛け時計よりもやや軽い 0.6kg です。壁に掛けて使うことができます。

また、24 時間動作させても消費電力が少ない省エネ設計です。 ※3. Airness Pocket を除く。

2. 消耗品が無く洗浄も容易なローメンテナンス(省保守・易保守)

メンテナンスは清拭や簡単な水洗いだけで、導入後の現場の手間が少ないリーズナブルな製品です。

3. ファンレスで『極限静音』

ファン(送風機)がなく*3、本体から発する音が限りなく無音に近い静寂性を実現。ファンレスでも無風ではありません。コロナ放電(無声放電)の「マイナスイオン気流」により、実感できる風を送り出します。

4. フィルタ利用時リスクを低減、最後は酸素に戻る

フィルタの場合、フィルタに捕集した物質の再拡散や保守者が吸引してしまうリスクがありますが、本製品ではフィルタに関連するリスクを遠ざけました。オゾン(O₃)は酸化分解の仕事を終えると酸素原子 1 個(O)を取られ、酸素(O₂)となって空気中に還元されます。酸化分解の仕事に当たらなかったオゾンも酸素原子 1 個を手放し酸素になります。いずれにおいてもオゾンの副産物は酸素に戻るため安全です。

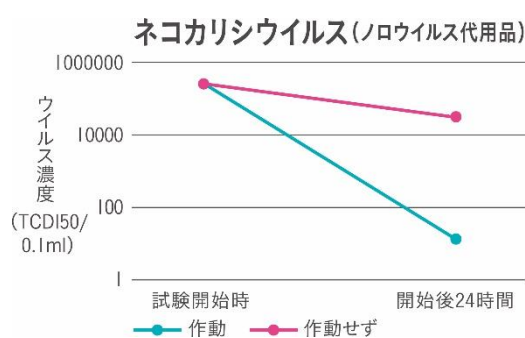
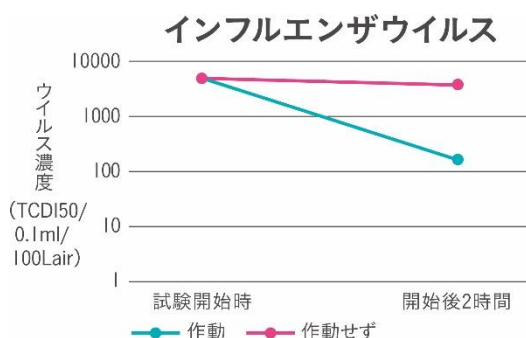
5. オゾン発生濃度は安全設計

適正な動作モードでご使用いただいた場合のオゾン発生濃度は、健康上の悪影響が無いと判断される許容濃度 0.1ppm 以下で、さらに半量 0.05ppm 以下となるよう設計しており、安全管理のしっかりした製品です。

■Airness(エアネス)の実証試験結果

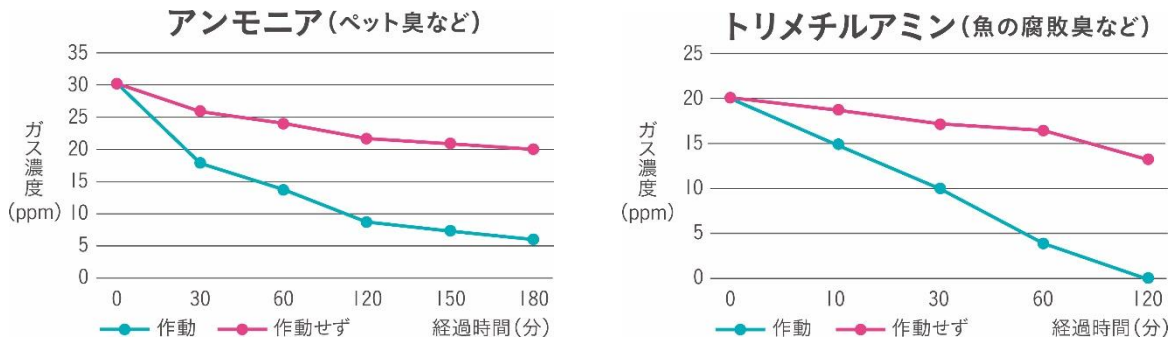
●ウイルス不活化試験結果

試験機関：株式会社食環境衛生研究所



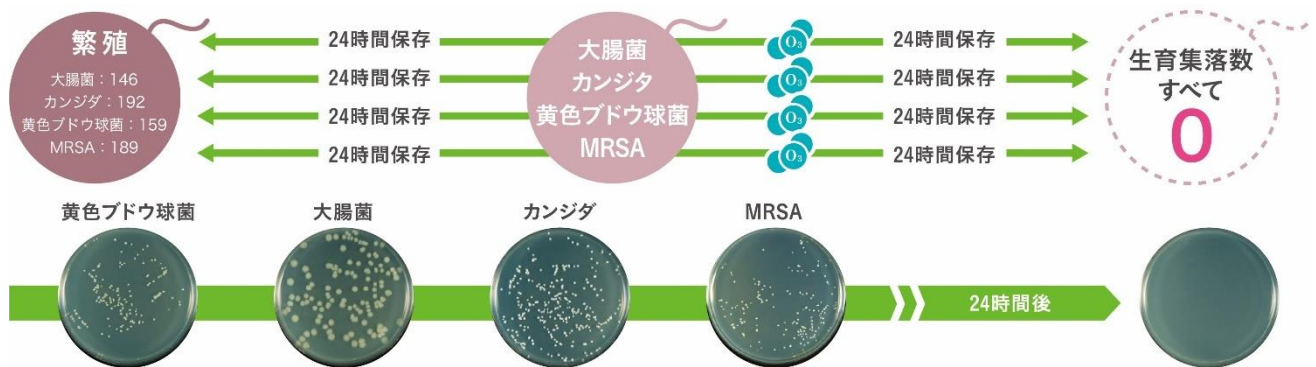
●臭気試験結果

試験機関：一般財団法人日本食品分析センター



●除菌試験結果

試験機関：一般財団法人日本食品分析センター



エアネスシリーズ (ANS-1601) における試験結果。
使用効果は、温度・湿度などの使用環境や使用時間、使用空間によって異なります。
実使用空間での実証効果ではありません。

■Airness(エアネス)シリーズの製品概要

	Airness II	Airness S	Airness Pocket
外観			
特徴	Airnessがパワーアップ 電極が22極になって新登場 連続/間欠50%	1畳から使えるコンパクト設計 マグネット付 連続/間欠50%/超間欠25%	シリーズ初のファン&バッテリー搭載 充電式なので一緒にお出かけ ストラップ付で持ち歩きも安心
使用範囲	最大30畳 (50㎡) 程度	最大10畳 (15㎡) 程度	ポータブル使用を想定
電極リング数	22極	4極	6極 (小型リング)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行)	240mm×175mm×60mm	173mm×105mm×43mm	81mm×156mm×33mm ※動作時の高さ：70mm
本体重量	610g	251.4g	200g
定価(税別)	148,000円	25,000円	25,000円

エアネスシリーズ

Airness II

居室・病室・診察室・施術室や共有スペースなどの広い空間で。



定価 148,000円 (税抜)



1 ファンレス

ファン(送風機)が無いのでモーター音や風を切る音がなく極めて静かです。



2 フィルタレス

フィルタを必要としない設計のため、フィルタ交換の手間やコストがかかりません。



3 小型・軽量・省電力

本体は小型で厚さはわずか6cmのため設置スペースをとりません。また、質量は610gと軽量です。1カ月の電気代は60円程度です。

Airness S

パーソナルリハスペースや個室トイレ・玄関などの狭い空間で。



定価 25,000円 (税抜)



1 壁掛け機能

背面にマグネットが入っており、簡単に壁に取り付けることができます。



2 モード切替

運転機能は連続モード・間欠モード・超間欠モードの3段階に変更可能。



3 コンパクト設計

コンパクト設計のため、狭いスペースに設置しても邪魔になりません。

Airness Pocket

バッテリー内蔵だから持ち運んで好きな場所で。



定価 25,000円 (税抜)



1 バッテリー内蔵

本体はUSB接続で充電でき、満充電で約4時間稼働します。



2 OFFタイマー機能

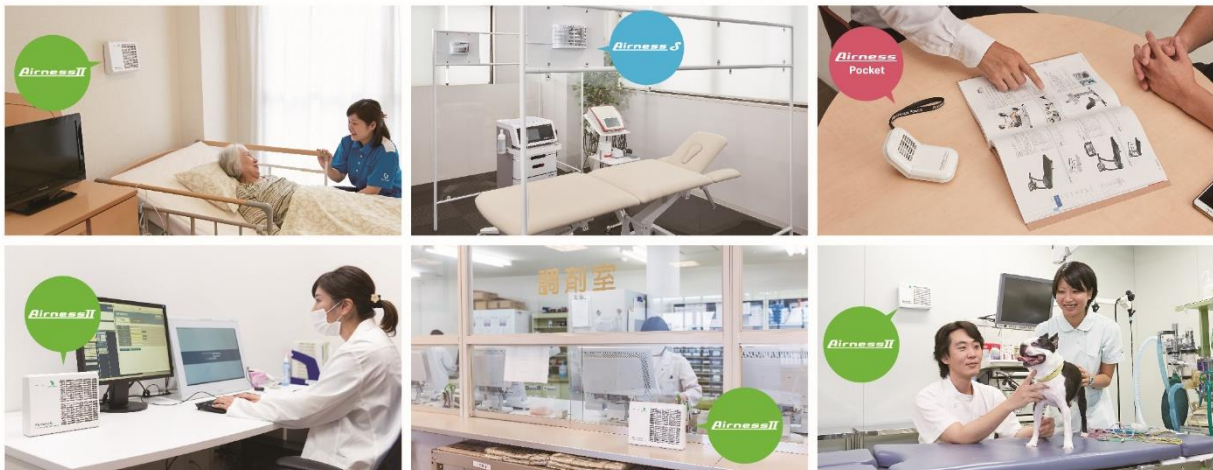
電源をONにしてから30分で自動的に電源が切れます。消し忘れがなく安心して使うことができます。



3 ポケットサイズ

小さめのバッグにもすっぽりと収まる大きさ。重さは約200gと軽量で外出先などで手軽に使えます。

エアネスは医療・保健・福祉の分野で活躍しています



■Airness(エアネス)シリーズの販売想定先

- 病院・クリニック・歯科医院・高齢者施設・接骨院・動物病院・ペットショップ・飲食店
スポーツジム・イベント会場・オフィス・幼稚園、保育園、学校等の教育機関・学習塾等
- 販売地域 全国
- 販売開始予定日 2020年10月下旬
- 年間販売目標 5万台（Airnessシリーズ合計）

■ 本製品に関するお問い合わせ

シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社

連絡先：<https://airness.jp/contact/>（専用サイト内お問い合わせページ）

■ 本件のニュースリリースについて（報道関係者からのお問い合わせ）

シップヘルスケアホールディングス株式会社 〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8

TEL：06-6369-0130 担当：経営企画室 白石 Mail：ir-info3360@shiphd.co.jp

※製品画像は用意しておりますので、お申し付けください。